

葉山の仲間たち

2016年3月25日発行 第26号
 NPO法人葉山まちづくり協会
 〒240-0112 三浦郡葉山町堀内1874
 町立図書館2階
 TEL&FAX 046-876-0421
 e-mail: office@hayama-npo.or.jp

葉山まちづくり協会 検索

春 ともに集って
 スポーツしよう！

パパもママも
 おにいさんもおねえさんも
 おじいちゃんもおばあちゃんも
 ぼくもわたしも
 スポーツして
 ますます健康に！
 笑顔の毎日！

☆南郷キャンディーズ

女子バレーボール

心をひとつに ボールをつなげ！



連絡先：永橋 090-9392-7889

☆アンカーズ 女子ソフトボール

いつも笑顔の練習が楽しい。
 初心者大歓迎！



連絡先：山崎 090-2653-7702

ビーチヨガ

一日の始まり、太陽の下で心身ともコンディションを整えよう！



連絡先：BEACH 854-4046

今活躍のスポーツクラブを紹介
 は『はやま市民活動ガイドブック』に掲載、
 は葉山町体育協会に所属しています。

ほかにも多くのスポーツクラブがあります。
 詳しくは(葉山町体育協会) 検索

◎☆葉柑ファイターズ

少年少女ソフトボール

すばしっこく塁間を駆け回って
 セーフ！女子もがんばってます。



連絡先：照沼 897-1640

◎☆上山ロススポーツ同好会

バドミントン

フワッと飛び上がって羽をラケットで
 強烈アタック！シニアもまかせせん。



連絡先：桜井 876-1668

◎☆フレンド葉山

グラウンド・ゴルフ

ボールの行方は...ナイスショット！



連絡先：中山 876-0094

◎☆葉山町空手道協会

松清館流空手道

決めのポーズカッコいい！
 オリンピック種目になったら、
 うれしいな。



連絡先：師範 平泉忠廣 878-6730

県少年少女
 空手道選手権大会
 H27年12月
 優勝・準優勝！

◎☆葉山熱烈ガンパFC

サッカーチーム

シニアとジュニアがいっしょに
 ゴール目指してボールに集中！



連絡先：辻 876-2823

「葉山写真塾」



腕前はたしか
 展示会・5/26～5/29
 図書館2階ホール
 問合せ・梶ヶ谷富久造
 046-878-8411

カメラの世界は奥深い。その魅力にとりつかれた人が集う葉山写真塾。平成7年に葉山町の生涯学習教室(写真教室)に参加したメンバーが発足した会で、今年で21年目。現在は14名が所属している。一年間を通しての活動はたいへん活発だ。先生に来ていただき、撮った写真を見ながらの勉強会(年6回)、撮影会(昨年度は7回で富士山、白糸の滝、マザー牧場など)を

「本のある風景」
 Teiaccora(ていあくら)
 「じもとじよかん」

葉山公園入口交差点から公園駐車場に向かう小道を入ってすぐの民家。昨年11月、町民有志がボランティアで開設した「じもとじよかん」だ。

葉山公園に子どもと遊びに来る人も「何をやってるのだろう?」と立ち寄る。葉桜にある『てらこや921 おうちえん』を運営する中尾さんが「地域の子

撮影会には代表者の梶ヶ谷さんが自ら運転して、塾生の皆さんを連れて行く。その道中がにぎやかでまた楽しい。カメラの面白さは、同じ被写体でもひとつとして同じ写真にはならないところ。光、構図、一人一人がこだわってシャッターをきるからだ。

写真家の土門拳氏はこう言ったそうだ。「キレイに撮るには五千枚撮りなさい。自分が満足する写真を撮るには一万枚撮りなさい」

自分の満足する写真を撮るために、塾生たちはシャッターをきる。



「子どもとじよかん」の入口
 どもたちに1冊でも多くの本にふれあい楽しくすこすこして欲しい」と、高知のNPO法人が運営する子ども図書館で学び、誕生した。本は主に寄贈されたもの。

昨年6月頃より本を集め、大人向けの古本を販売し、その収益で新たな児童書を購入、約1200冊の児童書を用意した。

一般の図書館とは異なり、子どもたちの楽しそうな声や笑い声も聞こえてくる。子ども同士遊べるのも、ここならではの風景。昔の図書館にあった貸し出しカードが味わい深い。取材中、メンバーから頼まれてと長坂で無農薬野菜を作っている夫婦登場。日当たりの良い軒先で野菜の販売が始まるかもしれない。

年齢問わず、多くの方が集まってくるので、子どもたちにはいろんな考え方があり、子どもたちを知ってもらい、視野の広い大人になって欲しい、と館長の上田さん。

開館時間は当面週1回・月曜日10時～14時。古本市を月1回・第1日曜日9時～11時。いよいよ4月23・24日に貸し出し開始。将来は開館日をふやし、下校したあとの子どもの居場所にした。



ゆっくりと本を選ぶ

勉強会「遺言書を自作しよう」

～円満な相続のために～ (全3回)

日時： 4月16日(土)10時半～
 4月23日(土)13時～
 4月30日(土)13時～
 (各2時間)

場所：図書館ホール
 定員：10名
 3回とも参加し、自作できる方
 申込：4月10日(日)締切
 葉山まちづくり協会
 046-876-0421

葉山まちづくり協会主催
 「きらく座」

葉山まちづくり協会では定期的に座談会をはじめた。その名も「きらく座」。

葉山は人材の宝庫。さまざまな領域の方を囲んでお話を聞かせていただくこの集まりは、新年から基本的に毎月第2金曜日、14時から15時、図書館2階のまちづくり館にて開催している。

これまでの話題は、「葉山ふるさと絵屏風」や「戦争中の葉山のくらし」について。文字どおり気楽で、堅苦しい雰囲気はない。参加される方も気軽におしゃべりを楽しむ交流の場だ。

第4回は4月8日開催。館ギヤラリー(3/20・5/22)「葉山・和の調べ」に合わせて生田流箏・三絃石川弥生さんにお話をうかがう。

開催のお知らせはホームページのイベントカレンダーにも掲載している。

長柄

長柄地区、とくに逗葉新道と長柄交差点を結ぶ県道沿いに新しい店舗や医療機関が作られて様変わりが著しい。その一方で、国指定の長柄桜山古墳群を有し、鎌倉時代の武士長江氏の足跡が其処此処に残り歴史の深さをしんみりと感じることもできる。

森戸川源流を抱く自然豊かな二子山には多くの人がハイキングを楽しみに訪れ、森戸川林道は貴重な山野草が見られる多くの野鳥や昆虫が生息していることから、三浦半島の秘境ともいわれる。

そんな長柄地区は葉山に住む人にとっても訪ねてやってくる人にとっても面白みが尽きない。知っているようで知らない長柄の興味深い話を集めてみた。



森戸川林道と野鳥 (オオルリ とウソリ)

小地名がオモシロイ

「小地名」とは「しょうちめい」と読み、村内や町内を小分けした名のことです。「小名」とも呼ばれる。いまでも呼ばれていてその由来を知りたくなる小名がある。長柄橋付近134号線をはさんで東側は「ダイヤモンド」。かつてダイヤモンド社創業者の別荘があったことからこのあたりの人々には「ダイヤモンド通り」と呼ばれていた。西側には「ゲラウンド」。むかし逗子開成のグラウンドがあったからだそう。葉桜団地には「座頭ころばし」というちょっとひやりとする小名。坂道があまりに急で盲人が転んだからといわれる。

仙光院の人気観音様

三浦不動尊第二十四番札所である仙光院の本尊は十一面観音。境内に立つ弘法大師の修行像のとなりにはユニークな名前の観音像がある。「ぼつくり観音」と「ぼけ除観音」だ。近ごろ物事を思い出すのにひと苦労するようになったし大往生を願いたいので、お参りせずにはいられない。お姿を見たら思わず手を合わせて深く深く拝んでしまっただろう。



観音様の御慈悲にあやかりたい

洋食レストラン

夕風亭



その店は川久保交差点から葉桜団地に通じる道を行くとすぐに見つかる。以前は一色小学校の近くにあったこの場所に移り2年が経つ。葉山の穏やかな海をイメージして「夕風亭」と名付けた。佐島出身の店主は若いときに洋食修業をしたのちサラリーマンに。でも「どうしても自分の店を持ちたかった」と現在に至る。「一色にあったときは知らなかったけど、ここに出来て家が近いから来ている」という長柄のご近所

お店探訪

MILFOIL

ミルフォイル

国道134号線沿い風早橋の信号付近にある「ミルフォイル」。ミルフォイルの語源でまわりを元気にする効用のあるハーブの名前。のんびりした中にも自分の考えを持っている人が多い葉山から何かを発信しようと、2012年にオープン。オリジナルウェアの原料となるオーガニックコットンはインドで生産され、商品に仕立てるのは20年以上のつき合いの宮城県栗駒高原の工場。店内にはシャツ、パンツ、セーターなど洋服のほか赤ちゃん用品、毛糸、洗剤、木でできたドイツ製のおもちや、スパイス、懐かしいり

のお客さんがいるかと思えば「一色にあったときからずっと横浜から食べに来ている」という十年來のお馴染みさんも。一番の人気ランチはプレートランチ。全部手作り、無添加、野菜も素材にこだわり鎌倉野菜を使用。なるほど珍しくて色鮮やかな野菜がたくさん。お店の二階はランチ、ディナーの他ご近所の集いや会議、イベントにも使用できる。「夜になるとこの辺りは明かりがなくなり小さな店なので皆さんになかなか知ってもらえませんが、お客様との交流が楽しく、力をいただいています」と奥さん。アットホームな雰囲気ながら、静かで穏やかな時を過ごせる。リアンまで何千点もが棚に並んでいる。オーガニックという生成りや茶色が多いが、この店のものは豊富な色を楽しめる。店内奥には木のおもちやがあり、お客様と一緒に来た小さいお子さんが洗剤の量り売りを行っているあいだ楽しく遊ぶ姿も。2歳から85歳まで幅広い年齢層に愛され、誕生祝やクリスマスプレゼントにもぴったり。6月8日から14日まで横浜高島屋で「服と洗剤」で出展する予定。



上りたくなる「階段」たち

息を切らして見える絶景への階段(図) 葉山から逗子方面へ向かう桜山トンネルの脇に長柄桜山古墳群につながる階段がある。緑に囲まれた中に延びる丸木で作られた階段は見た目にとってもやさしいが、かなりの段数がある。その数は300段とも600段とも噂はいろいろ。知っている方はぜひ教えてください。階段を上りきるまでに息が切れて太ももが痛くなってくるが、がんばって上りきるとこ褒美がまっている。逗子湾、江ノ島、その向こうに富士山という三拍子揃った絶景を見ることができなのだ。

緑豊かなふれあいロードを通り、木々のさざめきや鳥の声に耳を傾けながら二基の古墳を見学し、悠久の古代へ思いを馳せたい。



長い階段の先に最高の眺めが待っている

細くて急で好奇心をくすぐる階段(図) 仙光院の入り口脇になにやら細くのびる坂道がある。傾斜は急で途中から階段になっていく。どこへつながらののだろうかと好奇心をくすぐられる。両脇を笹に囲まれた中を進むと、きれいに手入れさ

れた仙光院の墓地にでる。墓地を通り抜けた先は葉桜団地につながる。じつはこの道、葉桜団地へ抜ける近道になっている。中学校を終えて学校を終えた中学生が友達と楽しそうに通っている。坂の上り口は彼らの帰宅路の分岐点になっている。ゆるやかに上りながら、数人がしばしばしゃいだと、手を振ってそれぞれの方向に向かって別れる様子を見ている。なんとなくせつない気持ちになる。

おなじみの「シンデレラ階段」(図) 南郷中学に通う生徒たちに呼ばれるようになってその呼び名がすっかり定着したシンデレラ階段。初めて訪れる人はこの階段にさまざまなイメージを抱いてやってくるらしい。まさにお姫様がドレスの裾をひいて歩くようなお花に囲まれたキラキラ階段を想像する人、夜は暗いから気をつけようという注意喚起からと考える人などさまざま。じつは、かつて山に囲まれた長柄地区から逗子方面に抜

れた仙光院の墓地にでる。墓地を通り抜けた先は葉桜団地につながる。じつはこの道、葉桜団地へ抜ける近道になっている。中学校を終えて学校を終えた中学生が友達と楽しそうに通っている。坂の上り口は彼らの帰宅路の分岐点になっている。ゆるやかに上りながら、数人がしばしばしゃいだと、手を振ってそれぞれの方向に向かって別れる様子を見ている。なんとなくせつない気持ちになる。



段差が低くて安心

ける大事な古道のひとつだった。近くの人がいともきれいに掃除をしてくれるので歩きやすい。シンデレラがガラスの靴を落とす心配のない安心な階段なのだ。

トンネルを抜けると...

長柄小学校下にある歩道橋とヤマト運輸配送センターのちょうど中間くらいにトンネルがある。トンネルといってもも県道鎌倉・葉山線の下をくぐって向こう側に抜ける道でいわゆるガード下。県道の上から見ると北側は住宅が立ち並び放課後の子ども達が遊んでいる。南側は木々が生い繁る中に舗装された細い道が延びるものの、その先にいったい何があるのかまったく見えない。時おり工事作業用と思われるトラックが数台連なって通っていく。静かな里山が広がっているのかそれとも開発されているのか。アスファルトの一本道をたどっていくと雑木林、資材置き場、菜の花畑がある。菜の花畑のずつと向こうには阿部倉山



くぐり抜けたくなるトンネル

探検はここで終了!



長柄の秘密地図

